

「石川県緊急事態宣言」の発出に伴う新型コロナウイルス感染症対策について

令和3年5月18日

基本的な感染症対策

- 1 感染源を絶つ
 - (1) 発熱等の風邪症状がある場合には登校しないことを徹底
 - (2) 健康観察表を使って、登校時の生徒の健康状態を把握
 - (3) 登校時に風邪症状が見られた場合、家庭と連絡を取り安全に帰宅させる
- 2 感染経路を絶つ対策
 - (1) 手洗いの徹底・・・石けんを使って丁寧に手を洗う
 - ・外から入ったとき
 - ・咳やくしゃみ、鼻をかんだとき
 - ・給食の前後
 - ・掃除の後
 - ・共有のものを触ったとき
 - ・トイレの後
 - (2) 咳エチケットやマスク着用の徹底
 - (3) 消毒の徹底
 - ・玄関にアルコール消毒液を設置し、登下校時に手指を消毒
 - ・共用部分（ドアノブ、手すり、スイッチ）などを消毒
 - (4) 不要不急の外出を抑えるなど「人との接触機会の低減」に努めるよう指導する

集団感染のリスクへの対応

- 1 「密閉」の回避（換気の徹底）
 - (1) 常に換気（エアコン利用時においても換気）
- 2 「密集」の回避（身体的距離の確保）
 - (1) 友達との間隔をあける（最低1メートル）
 - (2) 休み時間や昼休みの過ごし方についてガイダンスを行う
- 3 「密接」の場面への対応（マスクの着用）
 - (1) 基本的には常時マスクを着用
 - (2) 熱中症などが発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外す

活動場面ごとの感染症予防策

〈各教科〉 下記の学習等について、可能な限り感染症対策を行った上で実施

各教科共通	・ペアやグループワークなどの話し合い活動 ・多くの生徒が道具や用具を共有する活動 ・多くの生徒が一カ所に集合する活動
理 科	・近距離で活動する実験や観察
英 語	・音読やスピーキング活動
音 楽	・近距離で行う合唱や合奏
美 術	・近距離で活動する共同制作等の表現や鑑賞活動
技術家庭	・近距離で活動する調理や制作活動
保健体育	・生徒が密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする運動

<部活動>

◆感染リスクの高い活動への対応

- ・近距離で組み合う活動や身体接触を伴う活動、大きな発声等を伴う活動を一時的に制限する
- ・密集を避けるため場所や時間を工夫するとともに、大声での会話や応援等を行わない
- ・用具等については、不必要な使い回しをしないととも、こまめに消毒する
- ・学校が独自で行う他校との練習試合や合宿等を一時的に制限する
- ・大会等の参加に当たっては、大会中はもとより、会場への移動時や会食・宿泊時、会場での更衣室や会議室等の利用時においても、時間差利用、身体的距離の確保、会話の制限を行う

◆部活動に付随する場面での対策の徹底

- ・部活動前後での集団での飲食は控えるとともに、人との接触を避ける観点から、部活動終了後はすみやかな帰宅を促す
- ・部室、更衣室等の共用エリアを使用する場合には短時間の利用とし、一斉利用は避け、時間差利用、身体的距離の確保、会話の制限を行う

◆学校全体としての取組

- ・活動を認めるに当たって部活動から学校への活動計画書等の提出を求める
- ・部活動に参加する者が感染した場合の連絡体制や対応手順を再確認する
- ・活動前の健康チェック（発熱などの風邪症状が見られるときは活動させない）
- ・生徒のみで活動しない

<給食> 感染リスクの高い活動なので、感染症対策や衛生管理を徹底した上で実施

- ・食事前の手洗いの徹底（配膳の生徒は、手指をアルコールで消毒）
- ・配膳は当番生徒が行い、他の生徒は静かに座って待つ
- ・対面での食事を避け、会話を控える

<図書館利用>

- ・入口でアルコール消毒後に入室する
- ・本を借りる生徒のみが利用する

<登下校>

- ・身体的距離が十分取れないときは、マスクの着用を原則とする
- ・玄関等で密集が起こらないように配慮する（時間差をつけた移動指示）
- ・スクールバスを利用するときは離れて座り、密接な乗車を避ける

<集会・行事>

- ・集会での3密を避け、身体的距離を確保して行う
- ・放送で済ませる事のできるものは放送で行う
- ・活動内容の検討、場所や時間を工夫する

<その他 更衣室の利用>

- ・更衣については、体育の授業では男子は教室、女子は男女両方の更衣室を使用するなどの工夫をする

1 学校での主な感染防止策

- 「登校時」「給食前」「掃除後」「運動後」などにこまめな「手洗い」「手指消毒」を徹底する。
- マスクを着用し、咳エチケットを徹底する。
- 生徒が触れる部分（ドアノブ・てすり・トイレなど）や共用物品の消毒を行う。
- 感染拡大のリスクを高める「3密」を極力避ける。
 - ・ 常時換気を原則とし、窓等を対角方向に開け、十分に換気を行います。
 - ・ 生徒が密集しないよう空間を工夫する。
 - ・ 近距離での会話や大きな発声を避ける。
 - ・ 部活動は活動内容を工夫しながら、活動日や時間を厳守した上で実施する。
 - ・ 給食では配膳の方法を工夫するとともに、対面での食事をさげ、会話も控える。

2 感染リスクの高い学習への対応

- マスクを着用していても、以下の活動は慎重に行う。また、地域の感染状況を見て一時的に活動を控える。
 - ・ 生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループ活動やペア活動
 - ・ 音楽における合唱活動や管楽器演奏等
 - ・ 理科における生徒同士が近距離で活動する実験や観察
 - ・ 美術、技術家庭における生徒同士が近距離で活動する製作活動や調理時習
 - ・ 保健体育における生徒が密集する運動や近距離で組み合ったり接触したりする運動

3 感染リスクの高い部活動への対応

- マスクを着用していても、以下の活動は慎重に行う。また、地域の感染状況を見て一時的に活動を控える。

4 家庭における感染防止のお願い

- 朝の検温や健康観察を継続する。
- 発熱等の風邪症状、においや味の異常が見られるときは、無理せずに自宅で休養する。
- 「帰宅時」「食事前」など、こまめな「手洗い」を徹底する。
- 屋外での活動については、人と人との適度な距離（概ね2メートル）を保つことを心がける。
- 免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動、バランスのとれた食事を心がける。

5 その他

- 登校に不安がある場合は、学校にご相談ください。
- 行事等の中止や日程変更については、改めて学校から連絡いたします。

※ 詳しい感染防止対策につきましては、学校だよりや学校ホームページで「新型コロナウイルスに係る新しい生活様式（輪島中スタイル）」として掲載しています。ご確認をお願いします。